

介護福祉士の仕事に関するアンケートのお願い

平成 26 年 12 月

介護福祉士の皆さま

公益社団法人 日本介護福祉士会
介護のイメーリアップ戦略等調査研究委員会

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

公益社団法人 日本介護福祉士会では、今年度、厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）により本アンケート調査を実施しております。

この調査は、今後ますます社会的な役割が増大する「介護福祉士」の国家資格を保有しておられる皆様を対象に、介護福祉士の「介護の仕事」に関する意識及び現在までの介護の仕事のキャリア展開の実態等を把握するために行うものです。

皆様からご回答いただいた内容を分析・検討し、今後広く国民に、介護のプロフェッショナルとしての介護福祉士による介護が我が国の高齢者介護の質の向上に果たす役割や、介護の職業の可能性について、より正確で深い情報を広報し訴えていく戦略を構築するとともに、厚生労働省や自治体に対して政策提言を行っていくための貴重な情報として活用させていただきます。

なお、本集計結果に基づき検討結果や提案をまとめた報告書全文につきましては、公益社団法人 日本介護福祉士会ホームページにて公表いたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本アンケートの趣旨についてご理解賜り、ぜひともご回答いただけますようお願い申し上げます。

ご回答いただいた本アンケート票は、**平成 27 年 1 月 13 日(火)までに、同封の返信用封筒**にてご返送いただくようお願い申し上げます。

なお、アンケートの結果は統計的に処理されますので、個別の個人情報・事業所情報が公表されることはございません。

今日の介護そして介護福祉士に対する正しい認識を全国民へ！
『誇りある仕事』の確立と『処遇の改善』の実現をめざしましょう！

敬具

【返送いただきたい期限】

記入済みアンケート票は、**1 月 13 日(火)までに、返送いただきたい**ようお願い申し上げます。

【ご回答いただくにあたって】

◆本アンケートに回答をいただく対象者

本アンケートに回答をお願いする方は、公益社団法人 日本介護福祉士会会員（介護福祉士資格保有者）の方 10,000 人です。

◆利用目的

ご回答いただいた内容は、施策検討の基礎資料として活用し、広く政策提言に利用いたします。また、すべて統計的に処理されますので、個々の調査票のご回答や結果が、調査実施者以外に知られることはございません。

◆発送先情報(ご氏名・住所)の取集方法

公益社団法人 日本介護福祉士会の保有する会員データに基づきます。

◆回答方法等について

- ・このアンケートは、特に期日明記している設問以外はすべて**2014(平成 26)年 12 月 1 日(月)**現在の状況でお答えください。
- ・お答えは、あてはまる番号を○印で囲んでください。「1 つに」「いくつでも」など回答数が指定されています。あてはまる項目にその数だけ○印をおつけください。
- ・また、設問によっては、回答を具体的に記入いただくものもあります。
- ・数字をご記入いただく設問について、該当する人等がない場合は「0」とご記入ください。

◆問い合わせ先

お問い合わせにつきましては、下記までご連絡をお願いいたします。

公益社団法人 日本介護福祉士会事務局（担当：埜田、高橋、堀）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-13 西勤虎の門ビル 3 階
TEL : 03-3507-0784 FAX : 03-3507-8810 MAIL : webmaster@jaccw.or.jp

【回答記入票】

I. あなたの属性、現在のお仕事の状況についてお答えください。

設問	回答欄
01. 性別 (1つに○)	1. 女性 2. 男性
02. 年齢	歳
03. 介護福祉士資格の取得形態 (1つに○)	1. 実務経験ルート 2. 福祉系高校ルート 3. 養成施設ルート 4. その他 ()
04. 「介護福祉士」以外の保有資格 (いくつでも○)	1. 介護職員初任者研修課程修了者 2. 介護職員基礎研修課程修了者 3. ホームヘルパー1級研修 (訪問介護員養成研修1級課程) 修了者 4. ホームヘルパー2級研修 (訪問介護員養成研修2級課程) 修了者 5. 社会福祉士 6. 介護支援専門員
05. 最終学歴・専攻学科 (1つに○)	【福祉・介護系専攻】 1. 高等学校 2. 短期大学 3. 専修学校、専門学校 4. 四年制大学 学部 5. 四年制大学 大学院 6. その他 () 【福祉・介護系以外専攻】 7. 中学校 8. 高等学校 9. 短期大学 10. 専修学校、専門学校 11. 四年制大学 学部 12. 四年制大学 大学院 13. その他 ()
06. 現在の勤務先施設・事業所の種類 (1つに○) (注) 現在、「出産・子育てや介護のための一時休業・休職中の方」は、選択肢1~20いずれかに○をつけてください。	1. 介護老人福祉施設 2. 介護老人保健施設 3. 介護療養型医療施設 4. 訪問介護事業所 5. 通所介護事業所 6. 通所リハビリテーション事業所 7. 短期入所生活介護 8. 短期入所療養介護 9. 認知症対応型共同生活介護事業所 10. 小規模多機能型居宅介護事業所 11. 居宅介護支援事業所 12. 有料老人ホーム 13. サービス付き高齢者向け住宅 14. 地域包括支援センター 15. 障害者総合支援法における介護給付の事業所 16. 共同生活介護 (ケアホーム) 17. 訓練等給付の事業所 (自立訓練、就労移行支援、就労継続支援) 18. 地域相談支援の事業所 (地域移行支援、地域定着支援) 19. 地域包括支援の事業所 (地域移行支援、地域定着支援) 20. その他介護・福祉系以外の仕事 (具体的に: →06-1へ) 21. 現在、仕事に就いていない
06-1. (06で20に回答した方) 06の1~19の施設・事業所に勤めたことばありますか (1つに○)	1. ある 2. ない
07. 転職経験がありますか。(1つに○)	1. 仕事に就いた経験がない 2. 現在の勤務先が初職 (転職経験はない) 3. 転職1回 4. 転職2回 5. 転職3回 6. 転職4回 7. 転職5回 8. 転職6回以上 (回)

設問	回答欄
07-1. (07で3~8に回答した方) あなたの勤務先の履歴 (仕事のキャリアパス) を教えてください。Q6の1~20の番号を記入して下さい。	<p>① 初職の職場 ② 2度目の職場 ③ 3度目の職場 ④ 4度目の職場 ⑤ 5度目の職場</p> <p>現在の勤務先</p>
08. 以下の08~018は、06で1~20 (現在仕事に就いている) に回答した方に伺います。出産・子育て等の一時休業・休職の方は、休業・休職するまで就いていた仕事について回答してください。	(記入例) 2度転職したのちに、現在の職場に入職した方は、①、②にのみ、Q6の1~20で当てはまる番号を記入してください。
08. 現在の勤務先施設・事業所の従業員数 (1つに○)	1. 5人未満 2. 50人~99人 3. 100人~199人 4. 200人~499人 5. 500人~999人 6. 1000人以上
09. 現在の職種 (主たる仕事の内容) (1つに○)	1. 訪問介護員 2. 訪問介護員以外の介護職員 3. 生活相談員 4. 介護支援専門員 5. PT、OT、ST 等機能訓練指導員 6. 准看護師、看護師 7. その他の職種 ()
010. 現在の職場の勤続年数	年
011. 現在の職場の就業形態 (1つに○)	1. 常勤専従 2. 常勤業務一兼務しているお仕事 (具体的に:) 3. 非常勤
012. 現在の職場の雇用形態 (1つに○)	1. 一般常雇 (契約期間の定めがない) 2. 一般常雇 (契約期間が1年以上) 3. 1か月以上1年未満の契約 4. 日々又は1月未満の契約 5. 事業主 (法人) の経営者・役員 6. 自営業主 7. その他 ()
013. 現在の職位 (1つに○)	1. 施設長、事業所管理者 (所長) 2. 1以外の管理職 3. 主任・(サブ) リーダー 4. 1, 2, 3以外
014. 現在の職場の入職経路 (主なもの1つに○)	9. 求人・求職のWEBサイト→014-1へ 10. 個々の事業者の就職説明会 11. 事業者のホームページ 12. 業界団体主催の合同説明会 13. 都道府県や市区町村主催の説明会 14. ヘッドハンティング (直接スカウトされた等) 15. その他の経路 () 1. 学校の就職課への求人 2. 学校の指導教員等の紹介 3. 実習先施設・事業所の勧誘 4. ハローワーク 5. 民間の求人機関 6. 前職等の職場の職員や友人の紹介 7. 新聞折り込みチラシ 8. 求人・求職情報誌
014-1. (014で9に回答した方) 現在の職場への入職経路となったWEBサイトの種類・名称 (主なもの1つに○)	1. リクナビ (運営: リクルートキャリア) 2. マイナビ (運営: 毎日コミュニケーションズ) 3. 個々の介護系事業者が運営する紹介サイト (具体的な名称:) 4. 各都道府県が運営する紹介サイト () 5. 各都道府県社会福祉協議会が運営する紹介サイト (都道府県名:) 6. 全国社会福祉協議会が運営する紹介サイト (福祉のお仕事) 7. その他の紹介サイト (具体的な名称:)
015. 介護職 (管理職含め) として働いた延べ年数 (1つに○)	1. 1年未満 2. 1~3年 3. 4~5年 4. 6~9年 5. 10~15年 6. 16~20年 7. 21年以上 8. 従事した経験がない
016. あなたと家計を共にする家族の種類 (1つに○) (注) 同居の有無は問いません	1. いない (単独) 2. あなたの配偶者 3. あなたの親 4. あなたの配偶者+あなたの子 5. あなたの配偶者+あなたの子 6. あなたの配偶者+あなた又は配偶者の親 (三世代) 7. あなたの配偶者+あなたの子+あなた又は配偶者の親 (三世代) 8. その他の家族 ()

設問	回答欄
Q17. 家計の主な担い手（1つに○）	1. あなた 2. あなたの配偶者 3. あなた又は配偶者の親 4. あなたの子ども 5. あなたの配偶者 6. その他（ ）
Q18. 家族の介護をした経験がありますか（1つに○）	1. かつて家族の介護をしたことがある、現在はしていない 2. 現在、介護の介護をしている 3. 家族の介護をしたことはない

II. 「介護の仕事」の社会的評価の向上についてうかがいます。

設問	回答欄
Q19. マスコミ報道等を通して感じる世間の「介護の仕事の機能や中身の評価」と、あなたご自身の「介護の仕事の機能や中身の評価」は、どの程度一致していますか。（1つに○）	1. 一致している 2. 部分的には一致している 3. あまり一致していない 4. 全く一致していない 【自由に回答してください。】
Q19-1. (Q19で2～4に回答した方) ①②いずれも回答ください ①具体的などのようなことに違いがありますか。	
②	1. 世間が介護の仕事の機能や中身をよく分かっていない 2. 介護の仕事の機能や中身について、業界の情報発信や訴えかけが不足 3. 社会にとって必要なサービス産業であるとの国の広報が不足 4. マスコミの報道姿勢 5. 学校における学生や保護者に対する進路指導・助言の姿勢 6. 介護の仕事に従事している人の中に、意識や姿勢に問題がある人がいる 7. 介護事業の経営者の中に、介護を高い価値のある仕事だと思っていない人がいる 8. 提供される介護サービスの中に、質の悪いサービスが混在している 9. 提供される介護サービスの質の評価が行われていない 10. その他の理由（ ）
Q20. 「介護の仕事」の魅力に関して、「もっと分かりやすく社会に説明し訴えることができる」と思うことはどのようなことですか。（いくつでも○）	1. 決められたことをこなすのではなく、利用者や多職種と関わり工夫しながら仕事をできる 2. 国や自治体がいバックアップする職業としての成長性、安定性がある 3. ターミナルに至るまで他人の人生や生活を支援する仕事としての魅力がある 4. 経験と知識、技術及びコミュニケーション能力等の総合力が必要な高度な専門職・プロフェッショナルである 5. 地域の多職種と連携し協力して取り組んでいくことを通じて学ぶものが多い 6. 強いられることなく、自分のペースでキャリアアップしていただける 7. 自分のライフステージに合わせて働きた働き方で続けられる 8. 自分の人間的な成長に役立つ 9. 仕事と家庭生活、自分の好きなことの実践が両立できる 10. 同僚と出世を争うことなく、落ち着いて利用者への介護に向き合い専念できる 11. 経済的な面だけでなく、社会的にも意義がある 12. 地域に足場をもった職住接近（住まいと職場が近い）の働き方ができる 13. 介護保険が始まり、職場や働き方の選択肢が増え、自分に合った選択ができるようになってきている 14. その他の魅力（ ）

設問	回答欄
Q21. 今後、「介護の仕事」の社会的地位・評価の向上を図るにあたって、重要なことは何ですか。（いくつでも○）	1. 介護職の生涯キャリア体系の整備充実を進める 2. 必要な育成研修機会の整備充実を進める 3. 働く場所の環境を改善する 4. 各事業所・法人が、年功ではなく実力主義に基づく人事考課を行う 5. 適性のある人材の入職を進める 6. 介護の職種における人材育成の高等教育機会の充実強化を図る 7. 介護の仕事の独自の専門性について、社会や世間への見える化を進める 8. 地域包括ケアの推進現場で多職種と共に活動できる人材の育成を進める 9. 20歳代から60歳代まで年齢ステージに応じた業務内容やマネジメントの役割分担を構築する 10. 家族介護経験者等から、介護のプロフェッショナルの果たす役割の重要性に関する声を吸い上げ情報発信する 11. 提供される介護サービスの質の評価方法を確立する 12. 賃金をアップさせる 13. 管理職への登用を進める 14. 一定の資格による「ひとり開業」を認める 15. 制度上の介護福祉士の評価を、より高いものとする 16. 優れた介護福祉士の仕事ぶりの事例を集め情報発信する 17. その他のこと（ ）

以下は、現在、仕事に就いている方（06で1～20に回答した方）が回答してください。なお、出産・子育て等の特休・休業・体職の方は、休業・体職するまで就いていた仕事について回答してください。06で「21.現在、仕事に就いていない」と回答した方は、区へ進んでください。

III. 日頃の仕事の様子についてうかがいます。

設問	回答欄
Q22. 日頃の仕事内容について、1日の就業時間のうち、	1. 全くない 2. ある、1割以下程度 3. 2～3割 4. 4～6割 5. 7～8割 6. 9割以上
①介護の直接業務 ②介護の直接業務に付随する業務（実施記録作成等） ③その他の間接業務（事務所全体会議等） 以外の「雑用」（注）に携わっている時間の割合（1つに○） （注）あなた自身が考える①～③以外の「雑用」についてお答えください。	
Q23. 日頃の仕事のスタイルは、1、2のどちらに近いですか（1つに○）	1. 常に研鑽に努め、技術や知識の習得を図り、職場での与えられた達成目標を確認しながら処遇向上を目指していきたい 2. 仕事は仕事、自分の生活は切り分けて自分のペースを大事にして、ほどほどに仕事を頑張っていきたい

設問	回答欄
<p>024. 現在の職場の経営や人事管理に関して</p> <p>(1) 満足していること</p> <p>(2) 不満なこと</p> <p>(それぞれ最大3つまで記入)</p> <p>また回答した選択肢について、具体的な内容に関する説明を記入してください。</p>	<p>【選択肢欄】</p> <p>1. 掲げる教育理念・ミッションが実践されていることについて</p> <p>2. 職員の教育・研修機会があることについて</p> <p>3. 将来にわたる仕事のキャリア展開の機会があることについて</p> <p>4. 公正な処遇（給与や昇進昇格等）が実践されていることについて</p> <p>5. 職場の人間関係が良好であることについて</p> <p>6. 人間的な成長機会があることについて</p> <p>7. その他のこと</p> <p>()</p> <p>選択肢 (1)「満足していること」の具体的な内容</p> <p>選択肢 (2)「不満なこと」の具体的な内容</p> <p>記入欄</p>

IV. 日頃の生活全般のご様子について伺います。

設問	回答欄
025. 1週間の勤務先の出退勤時間 (1つに○)	<p>1. ほぼ定時（シフト勤務日含め）</p> <p>2. 日によって決まっていない（まちまちである）</p> <p>3. 在宅勤務である</p>
026. 休日取得状況 (1つに○)	<p>1. 土日中心に取得している</p> <p>2. 平日中心に取得している</p> <p>3. その他 ()</p>
027. 勤務先から帰宅後の育児や家事について (1つに○)	<p>1. 常に配偶者ないしその他家族と分担している</p> <p>2. 休日については配偶者ないしその他家族と分担している</p> <p>3. 専ら自分が行っている</p> <p>4. 専ら配偶者ないしその他家族が行っている</p>
028. 帰宅後の自由時間 (1つに○)	<p>1. 勤務日、休日とも、取れている</p> <p>2. 勤務日はとれないが、休日には取れている</p> <p>3. 勤務日はとれているが、休日には取れない</p> <p>4. 勤務日、休日とも、取れていない</p>
029. 「本業の仕事」以外には、どのような活動を行っていますか (いくつでも○)	<p>1. 自治会活動、ボランティア活動</p> <p>2. 本業以外の仕事（副業）</p> <p>3. 自己の楽しみやレジャー</p> <p>4. 育児・子育て</p> <p>5. 家事</p> <p>6. 家族・親族の介護</p> <p>7. 短大・大学等に通学</p> <p>8. 養成校等で教鞭</p> <p>9. 学会・研究会活動</p> <p>10. その他の活動 ()</p> <p>11. 本業以外の活動は、ほとんど行っていない</p>

以下のV～Ⅷは、現在、介護職として仕事をしている方 (Q9. で「1. 訪問介護員」または「2. 訪問介護員以外の介護職員」に回答した方) が回答してください。その他の仕事の方 (Q9. で3～7に回答した方) はXへ進んでください。

V. 入職してから現在までのことについてうかがいます。

設問	回答欄
Q30. 介護の仕事に就く決め手となった主なこと (いくつでも○)	<p>1. 仕事の内容自体にやりがいを感じた</p> <p>2. 提示された処遇条件が良かった (給与、休日、夜勤等)</p> <p>3. 職場の上司や先輩から学べる人が多いと感じた</p> <p>4. 同僚クラスの人たちとうまくやっていたと感じた</p> <p>5. 落ち着いて自分のペースで仕事ができる職場と感じた</p> <p>6. 職員間の楽しい競争がなく家だと感じた</p> <p>7. 転勤等がなく自分の地元で働き続けることができると感じた</p> <p>8. 多様な職種や事業所があり、いろいろな仕事のキャリアを積み重ねる機会があると感じた</p> <p>9. 法人規模や経営陣の顔ぶれや事業展開規模から、安定した職場と思った</p> <p>10. 親や指導教員等の勧め</p> <p>11. 配偶者や交際相手の勧め</p> <p>12. その他の要因 ()</p>
Q31. 入職後、介護の仕事に辞めようと思ったことではないことがありますか。 (1つに○)	<p>1. 辞めようと思ったことはない</p> <p>2. 何回かは、辞めようと思ったことがある →Q31-1へ</p> <p>3. いつも辞めようと思っている、転職先を探している</p>
Q31-1 (Q31 で「2. 何回かは辞めようと思ったことがある」と回答した方)	<p>1. 家族や子どもが、自分の仕事を誇りに思ってくれていることが分かったから</p> <p>2. 理解し評価してくれる上司や経営者がいることに気づいたから</p> <p>3. 担当の利用者やその家族から評価され信頼されることに気づいたから</p> <p>4. 介護の持つ深さや意義が分かってきたので、もっと究めてみたいと思ったから</p> <p>5. 今の仕事よりは、今の介護の仕事の方が、気楽・気長に仕事ができると思ったから</p> <p>6. これといった理由はないが、離職するまでの臨み切りのない (再就職機会がない)</p> <p>7. その他 ()</p>
Q32. 現在のあなたの業務 (いくつでも○)	<p>1. 経営マネジメント担当</p> <p>2. エリアマネジャー</p> <p>3. 事業所の管理責任者</p> <p>4. サービス提供責任者</p> <p>5. 介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル (認知症ケア、重度者ケア等)</p> <p>6. 介護の現場スタッフの教育リーダー、スーパーバイザー</p> <p>7. 介護の現場 (ユニットケアやフロア等) のチームリーダー職</p> <p>8. 一般介護職員</p> <p>9. その他 ()</p>

VI. 日頃の職場での上司や同僚との関係や仕事の様子についてうかがいます。

設問	回答欄
Q33. 毎日のチームでの情報共有方法、引き継ぎ方法 (1つに○)	<p>1. 定期的なミーティングで口頭確認</p> <p>2. 定期的なミーティングで利用者個別票に基づいて</p> <p>3. ミーティングはなく、引き継ぎ連絡票を引き継いで</p> <p>4. その他の方法 ()</p>
Q34. 職員間の情報の共有のためのICT (情報通信技術) のツールの利用状況 (いくつでも○)	<p>1. メール (Eメール、Webメール)</p> <p>2. SNS (ソーシャル・サービス・ネットワーク)</p> <p>3. サービス実施管理システム</p> <p>4. 日報管理システム</p> <p>5. スケジュール管理システム</p> <p>6. その他のツール ()</p>

以下は、現在、仕事をしていない方が回答してください。なお、出産・子育て等の一時休業・休職の方は除きます。

Ⅷ. お仕事について現在の状況、今後のことについておうかがいします。

設問	回答欄
049. 現在のお仕事の状況 (1つに○)	1. 現在、求職中である 2. 現在、求職中ではないが、いずれ求職予定である 3. 当分は、求職しないつもりである 4. 分からない、未定である
050. 今後の入職のご予定(職場 復帰、再就職、転職等) (1つに○)	1. 介護職 2. その他関係職種 () 3. 介護・福祉・医療関係以外の他職種 () 4. 分からない

以下は全員の方に伺います。

X. 今後、介護のプロフェッショナルである介護福祉士が行う仕事の役割の重要性や成長性について、社会にもっと積極的に訴えていくため、どのような方法を重視すべきだと思いますか。

XI. 最後に、「介護福祉士の仕事」の今後の役割等について、自由に御意見ご提案ください。

以上です。ありがとうございます。